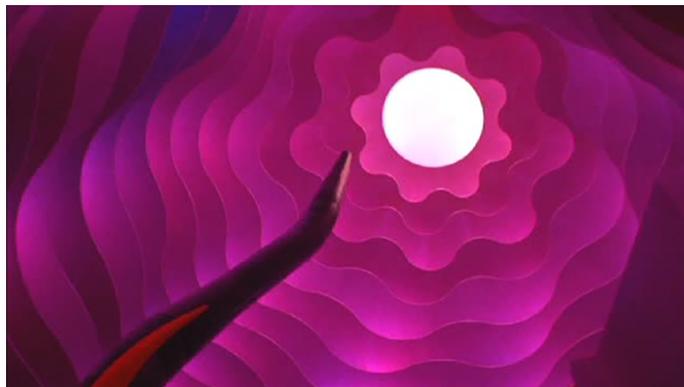


映文連アワード2018コーポレート・コミュニケーション部門優秀賞



記録
ビデオ
カラー / 24分

- 企画
(一社)関西環境開発センター
- 協力
大阪府日本万国博覧会記念公園事務所
(公財)岡本太郎記念現代芸術振興財団株式会社大林組

スタッフ

- 製作
山本孝行
- 演出
井上 実
- 演出助手
金山愛菜
- 撮影
今野聖輝
藤原千史
- 照明
池田義郎
- 音楽
清水健太郎
- 録音スタジオ
アオイスタジオ
- 解説
さこみちよ

1970年、大阪で「人類の進歩と調和」をテーマに開催された日本万国博覧会は、わずか半年間で6500万人もの人々を魅了し、日本中を巻き込んだ壮大な祭典だった。数々のパビリオンが競い合うように建設され、現在、会場に残るのは、博覧会の象徴として人々の心に深く刻まれた岡本太郎の「太陽の塔」だけだ。

半世紀の時を経て、老朽化が進んだこの塔は、未来へその輝きを繋ぐために、内部の耐震・修復工事が行われ、再び新たな命が吹き込まれた。

この復活を機に、「太陽の塔」を通じて、大阪万博がどのような意義を持ち、当時どのように日本や世界を沸かせたのかを、貴重な映像や関係者の声を交えて振り返る。